～市長が語る～「わがまちの今・これから」主な質疑応答の要旨

日　時：平成２９年５月２１日（日）１０：００～１１：１５
場　所：中央図書館　視聴覚室
出席者：副市長、企画財政部長、企画課長、財政課長、秘書広報課長　他
参加者：３８名（男性２７名・女性１１名）

【市長説明項目】
第１部　わがまちの「今」
第２部　わがまちの「これから」

【主な質疑応答の要旨】
参加者：袖ケ浦市は交通利便性の良い場所ですが、若い世代だけでなく、年配の世代が住むことも良いことだと思います。都内や神奈川県など対岸から移り住んでもらい、仕事があればより良いと思うので考えてください。特に内陸部は自然環境も良く、老後を過ごすには良い場所です。今後の計画にも盛り込んでください。

副市長：子育て等の若年層向けの施策だけでなく、高齢者施策もしっかりとやっていきたいと思います。平川地区は、空き家問題がありますが、空き家バンク制度を活用し、内陸部には内陸部の良さがあるので、シティプロモーション等でしっかりとＰＲしていきたいと思います。

参加者:いろいろと説明を聞きましたが、袖ケ浦市の問題が見えてきません。振り返りもなく、現状把握がない中、何が課題なのでしょうか。人口構成のマップが大切だと思います。袖ケ浦市では、市を構成するために適正な人口は何人なのでしょうか。中長期的に見えるようにしてください。

部長:市では１０年間の総合計画で、目標を持って事業を進めてきましたが、この１０年間で、時代の様子や経済の状況は動いています。この資料には、今後、更に事業を進める中で、すでに判っている問題点を課題としてあげています。これまで行ってきたものの中で、成果の検証を進め、今後の情勢等を推察する中で、いろいろな課題があると考えています。皆さんのご意見をいただきながら計画的に進めていきたいと思っています。
　袖ケ浦市の適正な人口規模については、日本全体が人口減少社会に入るた

め、袖ケ浦市だけが何人が適正とは言えません。
　新たな総合計画を策定するにあたっては、皆さんの意見を聞き、１０年程度を見据えた計画を作って進んでいきたいと考えています。市民の皆さんの意見を聞く場を複数設けたいと思っていますので、よろしくお願いします。

参加者：アンダーの完成について、当初３月開通とのことでしたが、７月に先延ばしになりました。このことにより、市の税金に影響しないのでしょうか。また、経費については、当初見積もった額で済むのでしょうか。
　海側地区の商業施設が白紙のような状態ですが、早く作るように要望を出しているとのことですが、開発と商業施設は両輪であることから、どのようなものができるのか、早急な働きかけが必要だと思います。看板が出ていますが、更地になっています。また、作られても利用されない施設では困るので、その点について慎重に進めてください。

副市長：アンダーの遅れについては、皆様にご迷惑をおかけして申し訳ないと思っています。私どもも、市長自ら、県に早急の完成について要望しましたが、遅れた理由としては、雨水処理のポンプ場処理施設の４回にわたる入札の不調があり、７月にずれ込んだものです。県の事業なので、税金等の面で市に影響はありませんが、利便性の観点からの影響は否定できません。
　商業施設関連についても、事業者に市長自ら本社訪問をして要望しています。事業者も市場リサーチをし、今の時代にあった、袖ケ浦市の駅前にそぐうメニュー作りをしているとのことですが、まだ、発表段階にありません。結果的に、このような施設ができてよかったと喜んでもらえるような施設を作るよう、事業者に申し入れをしています。

参加者：実績については、聞く機会が多いのですが、課題は何なのかという感じがします。例えばアンダーの開通に伴う昭和小前の通りの交通量の増加など、どのような課題があるのかということを、ポイントとしてしっかりと把握してください。また、先ほど見たプロモーション映像は短縮版だからか、画質面や迫力面であまり良いとは思えません。

部長：先ほどの映像は、短縮編集を行った物なので、画質が落ちておりますが、正規版の画質はきれいです。